

2015年9月3日

報道関係各位

農業生産法人 株式会社サンフレッシュ小泉農園
気仙沼信用金庫
公益財団法人 三菱商事復興支援財団

気仙沼市被災地域における大規模トマト養液栽培事業支援について

農業生産法人 株式会社サンフレッシュ小泉農園（以下、小泉農園）が、宮城県、気仙沼市などからの補助金、気仙沼信用金庫（以下、気仙沼信金）などの融資支援に加え、公益財団法人 三菱商事復興支援財団（以下、三菱商事復興支援財団）の5千万円の出資金を活用し、宮城県気仙沼市本吉町に建設していたトマトの大規模養液栽培施設（以下、本施設）が完成いたしました。

本日、9月3日（木）14時に落成式を開催し、安全で新鮮なトマトの栽培を開始いたします。

小泉農園は、東日本大震災で被災した気仙沼市本吉町の農家が協力して2014年10月8日に設立され、津波で被害を受けた気仙沼地域の農業を復興するため、本吉町のがれきの処理場だった場所に本施設を建設することを目指し、本年2月6日に建設予定地で起工式を行いました。

本施設は、幅50m、長さ100mのハウス2棟で構成される県内有数規模のトマト栽培施設であり、果実の硬さと甘みが特徴の大玉トマト「桃太郎」を年間約600トン生産、地元の青果市場や農協、東北エリアに展開する大手スーパーでの販売を目指します。尚、本施設では、震災で農業を続けられなくなった農家の方20名を含む、34名の従業員を新規に雇用いたします。

また、小泉農園は、トマトを活かした農業の六次産業化や、気仙沼地域の皆様に新鮮な野菜を届けるための直売所設置、地元の幼稚園・小中学生向けの農業体験も計画しています。

三菱商事復興支援財団は、気仙沼地域における農業復興、雇用の創出、社会貢献等を目指す小泉農園の事業を力強く後押しするため、支援を行っています。

東日本大震災からまもなく4年半が経過しようとしていますが、津波により甚大な被害を受けた沿岸地域は未だ再建途上にあります。三菱商事復興支援財団と気仙沼信金は今後も協働し、被災地域の産業復興、雇用創出、地域再生につながる事業の支援を継続して参ります。

◇小泉農園の大規模トマト養液栽培施設



◇トマトの養液栽培

土を使わず、肥料を水に溶かした液（養液）によってトマトを栽培する農法で、病害等に悩まされず、トマトを安定生産できることで知られています。

【参考】各社概要

1. 農業生産法人 株式会社サンフレッシュ小泉農園：

- ①本社所在地：宮城県気仙沼市本吉町北明戸7番地3
- ②設立：2014年10月8日
- ③資本金：500万円
- ④事業内容：養液栽培野菜生産
- ⑤代表者：代表取締役 今野 圭市

2. 気仙沼信用金庫：

- ①本店所在地：宮城県気仙沼市八日町二丁目4番10号
- ②設立：1926年9月2日
- ③出資金：7,800百万円
- ④事業内容：預金業務・貸出業務他
- ⑤代表者：理事長 菅原 務

3. 公益財団法人 三菱商事復興支援財団

- ①本社所在地：東京都千代田区丸の内二丁目3番1号
- ②設立：2012年3月
- ③財団規模：100億円
- ④事業内容：修学が困難となった学生に対する奨学金の給付、復興支援活動に従事する非営利団体等への助成金の給付、その他被災地の産業復興・雇用創出等に資する事業
- ⑤代表者：会長 小林 健（三菱商事 代表取締役社長）
副会長 廣田 康人（三菱商事 代表取締役 常務執行役員）
代表理事 野島 嘉之（三菱商事 環境・CSR 推進部長）

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

農業生産法人 株式会社サンフレッシュ小泉農園 今野 TEL：0226-28-9158

気仙沼信用金庫 藤村 TEL：0226-22-6830

公益財団法人 三菱商事復興支援財団広報担当 村上 TEL：03-3210-5689